



➔ 7月20日（木）G10 公開プレゼンテーション開催！

7月20日（木）16:15より、LL教室にて、今年度ボストン・ニューヨーク研修に派遣される生徒による公開プレゼンテーションを行います。食料問題というグローバルな課題についての提言を、2つのグループがそれぞれ行います。ニューヨーク・アспен研究所で発表する実際のプレゼンテーションとほぼ同じものとなります。内容はもとより、プレゼンテーションの手法についても学ぶことが多いと思います。ぜひ参加してください。

1年生が8時間目に総合学習があるため、16:15からの開催になります。17時には終了します。

■ グローバル10「公開プレゼンテーション」

日時：7月20日（木）16:15-17:00 場所：LL教室

内容：米国アспен研究所で行うプレゼンテーション

➔ ホストファミリーを募集しています！（1学年保護者対象）

本校姉妹校である韓国「ミチュホル外国語高校」からの生徒を受け入れていただけるご家庭を募集しています。6月末にご案内を配布いたしました。引き続きご検討いただければと思います。また、平成30年3月、本校1学年生徒（10名前後の予定）がミチュホル外国語高等学校への短期留学を実施する予定です。その際、御希望があればホストファミリーを引き受けてくださった御家庭の生徒を優先的に派遣します。先方でもホストファミリー宅に宿泊します。

受け入れ日程

平成29年10月14日（土）から10月17日（火）までの3泊4日

お問い合わせは下記までお願いいたします。

日比谷高等学校グローバル事業部

➔ 7月4日 「税金について考える」講演会

7月4日（火）、本校大会議室において、「税金について考える講演会」行われました。本講演は前半をディスカッション形式、後半を講義形式で実施しました。「ドギー税」、というペットの犬に関する税制を想定して、その妥当性や有用性について議論をしました。さまざまな意見が出され、活発な意見交換がなされました。



後半は税制についての講義を受けました。「税制に関しての理解の希薄さが、納税に対する意識を弱めているのではないか」という湊昭子先生（東京税理士会麹町支部所属）のお話が印象的でした。また、税法というのは個人の財産を守るという理念もあることもお話しいただきました。最後には、ドギー税にちなみ、犬のぬいぐるみをおみやげとしていただきました。

➡ G10メンバーの事前研修レポート（一部）

今年度のボストン・ニューヨーク海外研修のメンバー12名の事前研修がスタートしました。連日のようにプレゼンテーションの準備会議、講演会、校外研修を行っています。その一部を紹介します。

✓ 6月13日 “Basic Presentation Skills (Lecturer: Lauren Scarratt)”

本校のJET、Lauren Scarratt先生による講義が行われました。Presentationにおいて大事なskillとは何か、を実例を挙げながら丁寧に講義をいただきました。Presentationをする前に、Audienceが「どんな対象なのか」、「何を知っているのか」、「何を求めているのか」等をしっかり考えなければいけないというお話に始まり、資料の見つけ方、議論の順序、話している最中に留意すべき点等を教えていただきました。”Involve the audience.”というフレーズが特に印象的でした。Presentationは個人の単独作業ではなく、Audienceとの協働作業であることに改めて気づかされました。

✓ 6月20日 「アフリカの最新状況」 中垣 長睦氏講演



株式会社VSOC代表取締役社長、中垣長睦氏による講演が行われました。アフリカの農業経済の現状や、海外援助の課題などについての講義をいただきました。本講演は今年で3回目を迎え、G10派遣メンバーにとっては基本となる重要な研修です。経験に裏打ちされたお話には強い説得力があり、言葉一つ一つに重みを感じました。「日本は大量の農産物を輸入しているが、それはその農産物にまつわるあらゆるものを輸入しているということに他ならない」、というお話がありました。そういった事実を鑑みると、食料自給率の問題も新たな視点で見えてくることとなります。

➡ 6月21日 経済産業省 訪問

6月21日、ニュージーランド姉妹校交流の生徒たちとも合同で、経済産業省を訪問しました。日本経済の中核ともいえる場所で、さまざまな意見交換ができたことは大きな財産になったことでしょう。

第一線で活躍する職員の方々のお話は、常に将来を見据えたものであり、幅広い視野をもっていることに驚かされたようです。今後の研修や発表活動において、さまざまなことを分析する視点は広がったことと思います。職員の方々には、丁寧に对应いただき、今後の日本の将来についてさまざまなお話をいただきました。

サービス政策課の皆様は、実に様々なキャリアや経験をお持ちでとても興味深かったです。親しみやすい雰囲気でご接していただき、感謝しています。実際に日本という国を導く最前線で活躍されている方々に直接質問して解答頂ける機会はとても貴重な体験となりました。私の、東京は世界にとってまた日本にとってどのような都市か、という質問に対し、新たなご意見を頂くことができてよかったです。（23R K.I.さん）

➡ 6月26日 ニチレイ本社 訪問

日本で初めて冷凍食品を作った企業であり、冷凍食品事業および低温物流事業において国内最大手である株式会社ニチレイを訪問し、講演をいただいた。ニチレイ本社の大きな会議室に通していただき、たくさんのスタッフの方々にお集まりいただき、緊張感の中にも親しみのある雰囲気で行われました。実際に海外で働かれている社員の方々にもお話を聞かせていただきました。グローバル企業における現場の方々との意見交換は、視野を大きく広げてくれるものとなりました。

2060年には、日本の人口は8500万人と、2017年現在の人口と比較して35%も低い数字になることが予想されています。人口が減少すればそのぶん食糧の消費量は少なくなるため、食品業界には大きな影響を及ぼします。しかし、ニチレイの皆様のお話では、人口の減少によって労働人口も減るため、冷凍食品についてはレストランなどの企業での消費が多くなるだろうということでした。人口問題をはじめとする様々な要因によって、人々の食生活は大きく変化していくことが予想されます。そういった変化に適応すべく、しっかりと先を見通して行動する能力がいまの社会で働くために求められているのだということも、よく理解することができました。（23R K.D.さん）